

85. ^{しらかわ}白河・^{あいづかいどう}会津街道

選定箇所：大町一之町の札の辻（福島県会津若松市）～黒森峠（会津若松市・郡山市）～勢至堂峠（郡山市・須賀川市）～早坂峠（須賀川市・天栄村）～手招坂（天栄村）～上小屋宿～女石（白河市）

概要：会津若松城下の大町一之町から白河城下の奥州街道との分岐点「女石」にいたる約66kmの街道である。豊臣秀吉による奥羽仕置に際して、伊達政宗が白河から会津までの工事を担当し、道や宿駅が整備された。その後、17世紀前半に会津藩主加藤嘉明により行路が変更された。江戸と会津・越後方面を結ぶ交通路として、参勤交代や米などの物資輸送にも利用された。



写真提供：会津若松市教育委員会